

2024 年 9 月 5 日

日本共産党衆議院議員 塩川 鉄也
日本共産党参議院議員 岩淵 友
日本共産党茨城県委員会 委員長 上野 高志
日本共産党茨城県議団 県 議 江尻 加那
日本共産党県内市町村議員団

航空自衛隊百里基地の機能強化にともなう申し入れ

岸田政権は 2022 年に閣議決定した「安保三文書」に基づき、「抑止力」の名の下に軍事費の GDP 比 2 % への倍増、全国各地で自衛隊施設の強靱化など大軍拡に突き進んでいます。これは、戦力不保持を謳った日本国憲法とは相容れない“戦争国家づくり”にほかなりません。日本共産党は、「抑止力」どころか日本を含む北東アジア地域の政治的緊張を高める大軍拡に厳しく反対します。

本県にある航空自衛隊百里基地（小美玉市）では、「最適化事業」として今後 10 年間で 300～500 億円もの税金が投入され、戦闘機を分散配置する設備や隠ぺい施設の整備、格納庫の新設などが検討されています。同基地司令は「あらゆる事態に備えるもの」と説明していますが、これは本県が他国の攻撃対象となることを前提としたものであり、到底容認できません。

また、同基地で米・英・豪・独・印・加・仏との共同訓練がこの 10 年間で急増し、とりわけ核兵器の搭載が可能な米空軍 B52 爆撃機との共同訓練が茨城東方沖をはじめ国内で常態化していることは、「非核三原則」を堅持する本国にとってきわめて重大です。昼夜飛行訓練にともなう騒音被害、同基地所属機の部品落下、有機フッ素化合物（PFAS）汚染が近隣住民の生活を脅かす事態になっています。これらは基地が立地することにとともなう問題であり、日本政府をはじめ、県民生活を守る上で本県の役割が求められていると考えます。そこで、安全・平和な茨城をつくるために、以下の項目について申し入れます。

記

1. 地域の緊張と住民の命や暮らしをおびやかす百里基地の機能強化と共同訓練、とりわけ早朝夜間の飛行訓練は中止するよう政府に求めること。
2. 同基地所属機や共同訓練にとともなう飛行訓練の実態、ルートを明らかにするとともに、原子力施設の上空飛行を制限する原則を徹底すること。
3. PFAS 汚染について同基地の専用水道に限らず周辺の汚染状況を調査するよう政府に求めるとともに、県民の安全確保へ県としても独自に調査すること。
4. 航空機の騒音が住民生活をおびやかしていることから、県として同基地の騒音調査に取り組むこと。
5. 基地対策の担当部局を庁内に設置し、国に情報提供を求め住民に発信すること。

以 上